



おおぞら

コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和4年3月1日 NO. 20
校是「和致芳」

「みんながなかよく高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう」

少年少女五十川獅子踊りの伝統を引き継ぐ

10月の学習発表会の少年少女五十川獅子踊りの発表は本当に素晴らしく、ご指導いただいたお師匠様方からも「間の取り方が大人の踊りのようだった。太鼓、笛と獅子の踊り、そしてかけ歌がしっかりそろっていて見事だった」とほめていただいたほどでした。それを4・5年生に引き継ぎます。6年生が安心して卒業できるように、4・5年生が中間休みも一生懸命練習を重ねてきました。パートリーダーからは「1人1人は上手だけれど、揃えるところはもう少し」と厳しい指摘もありました。この日は引継ぎ式でした。新型コロナウイルス感染症が市内でも広がりを見せているため、地域のお師匠様はお呼びできません。児童と職員のみでの引継ぎ式でした。練習の成果を発揮して、ゆったりと「間をとったすばらしい獅子踊りでした。笛をゆっくり長く吹くのは難しいことです。太鼓もかけ歌もあせるとどんどん早くなってしまいます。ゆっくりできたことは4・5年生に力がついているということです。「練習はうそをつかない」は本当です。さらにかげ歌の意味や情景を思い浮かべて、心をついにしていこうと話しました。「6年生をこえる獅子踊りにしたい」という5年生の言葉が頼もしく感じました。できると信じています。お出でいただくことができなかったお師匠様方に、DVDで引継ぎ会の様子をお知らせしたいと考えています。



おめでとう！ 対外応募活動での活躍

◇長井市読書感想文コンクール

入選 1年 亀井 茜 「とってもとってもいいきもち」を読んで

雪の中でしかできぬこともある。 雪の中でしか気づけぬことがある。

放送中の朝ドラの中のセリフに「暗闇でしか見えぬものがある、暗闇でしか聞こえぬ歌がある…」という言葉があります。真似してみました。たくさんの雪が降り、登下校や保護者の方々の通勤、そして雪かきは本当に大変です。でも雪があるからできることもあります。数年前は積雪がなくスキー授業は全く中止になりました。今年は少し雪が多すぎますが、スキー授業をしっかりと行うことができました。保護者の皆様のご協力のありがたさ、地域の皆様が子供たちを大切にしているのを感じました。広いグラウンドで思いっきり雪遊び、雪だるまつくり、これも雪国でしかできない体験です。道路の除雪をしてくださる業者の方々、除雪車等機械の力の大きさも感じます。さっと雪が降った朝、除雪車は出ない、でも雪はたくさんある。こんな朝は広い駐車場を手作業で除雪します。主任技士さんだけでは間に合いません。



高学年の児童たちがスコップやスノーダンプをもって進んで雪かきを行ってくれます。遠くから歩いてきたのに、すぐに力を貸してくれます。頼もしい子供たちです。寒い日でも心が温かくなります。



リモート授業に備えて

万が一の場合に備えて「タブレットを使ってリモートで健康観察」をしてみました。先日は職員の研修を行い、今度は子ども達と実際にタブレットを使って試すためです。様々なトラブルが予想されます。どうしたらスムーズにできるか？低学年にもわかりやすく説明できるか？これは、「子どもの現在の状況をつかみ、実態に合わせて、教師がわかるように教える」という教育の本質です。教科書はないので、試行錯誤して「わかった」「できた」を創り出していく授業そのものです。実際にやって見ると、画面が映らない、グループがいくつもできる、ハウリングが起きる等さまざまな問題続出でした。一つ一つクリアしていき、より良い方法で行っていきます。直接とリモートのハイブリッド、リモートと電話のハイブリッドなど柔軟な対応力が求められます。わからない、できないから止めたではなく、少しずつ一歩ずつ進んでいかなければなりません。



致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。こちらのQRコードからどうぞ。